



No.70

令和5年7月25日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



自然薯とろろ

しんええ



関連記事 P16

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集 ①	出資法人経営状況報告	2
開会/定例会議	条例改正・補正予算などを審議	4
活動報告	議員研修・特別委員会視察研修	8
一般質問	「災害時の個別避難計画」など 4人登壇	10
特集 ②	町民の皆さまからのひとこと	14
追 跡	入学等応援給付金(ちょっと深掘り)	15

経営状況報告を受けました

特集1

※受託料とは町から支払われる運営に対する委託料である。

報告第4号 株式会社 おおい

新型コロナの感染対策を講じながらではあるが、多くの施設で昨年を上回る利用実績となった。「道の駅うみんぴあ大飯」では、スケートパークやシーシーパークの開業による賑わいが増したことや、出荷者と提携したイベントの開催効果により、前年を上回る売上高となった。

利用料・販売料収入	4億3006万2464円	売上原価	1億9659万7535円
受託料	2億9193万4243円	販管費	5億6166万1656円
町補助金	4088万0000円	合計	7億5825万9191円
その他収入	1116万5438円		
営業外収益	19万5689円	当期経常利益税引前	1597万8643円
合計	7億7423万7834円		



総合運動公園	収入		道の駅うみんぴあ大飯	収入		赤礁崎オートキャンプ場	収入		きのこセンター	収入	
	利用料	販売・その他収入		利用料	販売・その他収入		利用料	販売・その他収入		利用料	販売・その他収入
	14,600,040	700,127		0	121,684,131		51,339,573		0	89,424,711	
	受託金	67,761,000		受託金	5,454,546		受託金	0		受託金	
	町補助金	0		町補助金			町補助金	0		町補助金	
	純売上高	83,061,167		純売上高	127,138,677		純売上高	59,110,970		純売上高	
	売上原価	0		売上原価	56,939,510		売上原価	4,678,716		売上原価	
	固定費	41,980,249		固定費	40,339,507		固定費	21,213,377		固定費	
	変動費	43,200,949		変動費	28,552,135		変動費	26,998,004		変動費	
	支出合計	85,181,198		支出合計	125,831,152		支出合計	52,890,097		支出合計	
計	営業利益	▲2,120,031	計	営業利益	1,307,525	計	営業利益	6,220,873	計	営業利益	

※株式会社おおいが管理する施設から抜粋

報告第6号 わかさ大飯マリンワールド株式会社

第29期事業年度においては、「観光船事業」について将来的にも黒字転換が困難な状況と認識したため事業を継続しないこととし、併せて町からの補助金及び受託料に依存せず、財務内容の健全性を確保する収支計画として事業を行った。

売上高	3747万7932円	売上原価	0円
特別利益	0円	販管費	1698万6616円
営業外収益	164万3249円	営業外費用	28万2907円
合計	3912万1181円	合計	1726万9523円
	当期経常利益税引前		2185万1658円



観光船は今後、株式会社社ともめぐりが運行する。

報告第8号 株式会社 名田庄ウッドセンター

森林所有者からの出材が多く、良材にも恵まれた。また、年間を通じて安定した出材があり、収益を上げることができた。

事業収入	2357万8349円	販管費計	2196万3473円
事業外収入	4万5736円	当期経常利益税引前	166万0612円
合計	2362万4085円		



(株)名田庄ウッドセンターの事業実績

木材売上 (令和4年4月~令和5年3月)

	今年度実績	計画数量等	達成率	前年度実績	前年度比
材積 (m ³)	4,585	4,800	95.5%	2,808	163.3%
売上高	54,426,269	41,550,000	131.0%	32,977,332	165.0%
平均単価	11,871	8,700	136.4%	11,744	101.1%

木材樹種別取扱実績

樹種	4年度実績 (m ³)	3年度実績 (m ³)	前年度比
すぎ	4,303.243	2,555.745	168.4%
ひのき	221.844	236.443	93.8%
まつ	42.148	0.000	皆増
もみ	0.000	1.214	皆減
けやき	0.000	0.800	皆減
その他	17.350	13.480	128.7%
計	4,584.585	2,807.682	163.3%

※年12回予定している木材の市売は、令和3年度は2回のみの開市だが令和4年度は6回の開市となった。

令和4年度

町が出資する法人の

報告第5号 株式会社 名田庄商会

コロナ感染症拡大による利用者の減少、原油高騰や円安による原料や資材、発送料・燃料費の増大、最低賃金の引き上げによる人件費の増大など非常に苦しい経営状況だったが、従業員一丸となり経費削減、製造効率のアップを図った結果、利益を確保することができた。

利用料・販売料収入	1億4616万7345円	売上原価	1億166万0533円
受託料	6519万8000円	販管費	1億2252万1011円
町補助金	1168万1000円	営業外費用	400円
その他収入	553円	合計	2億2418万1944円
営業外収益	192万7432円	当期経常利益税引前	79万2386円
合計	2億2497万4330円		



※(株)名田庄商会の決算書の性質上、売上原価に一部賃金が含まれています。

(株)名田庄商会の主な事業別収支

流星館	収入	農産加工センター		あきない館	収入	物産品販売事業	
		売上高	受託金			売上高	受託金
	売上高	17,914,665	37,000,000		売上高	59,608,960	1,805,000
	受託金	0	0		受託金	43,366,416	6,858,246
	町補助金	244,098	388,068		町補助金	11,584,553	0
	営業外収益	55,158,763	61,802,028		営業外収益	17,401,045	0
	純売上高	10,316,646	43,366,416		純売上高	7,719,842	81,630,136
	売上原価	26,461,689	6,858,246		売上原価	4,628,000	21,179,854
	固定費	14,634,252	11,584,553		固定費	5,053,203	14,512,419
	変動費	4,200,000	0		変動費	0	400
	営業外費用	55,612,587	61,809,215		営業外費用	17,401,045	117,322,809
	支出合計	▲453,824	▲7,187		支出合計	0	2,297,979
	計 営業利益				計 営業利益		

報告第7号 公益財団法人 グリーン大飯農業公社

地域農業の振興を図り、地域住民の利益増進に寄与するため、農作業の受委託に関する事業を中心に、またおおい町や関係機関との連携を図り、支援体制を強化できるよう取り組んだ。

事業収入	2140万1186円	固定費	2742万1860円
補助金	1314万0000円	販管費	266万4227円
雑収入	8万478円	その他支出	46万9200円
その他収益	46万3900円	合計	3055万5287円
合計	3508万5564円	当期経常利益税引前	453万0277円



報告第9号 おおい町土地開発公社

おおい町と連携して保有土地について積極的に有効活用の推進に努力した。令和4年度では6件2,136.61㎡の土地を売却した。

事業収入	4743万0210円	原価	4715万4610円
事業外収入	228円	販管費	263万2035円
合計	4743万0438円	合計	4978万6645円
		当期経常利益(損失)税引前	▲235万6207円



特集①

審議内容

活動報告

一般質問

特集②

追跡

令和5年開会会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (町税条例の一部を改正する条例)	—	承認	P5
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	—	承認	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度一般会計補正予算(第1号))	—	承認	
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第1号))	—	承認	
議案第31号	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	—	原案可決	
同意第1号	監査委員の選任について	—	同意	

令和5年6月定例会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
報告第1号	令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書	—	承認	P5
報告第2号	令和4年度国民健康保険診療事業特別会計繰越明許費繰越計算書		承認	
報告第3号	令和4年度簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書		承認	
報告第4号	株式会社おおいの経営状況報告について		承認	
報告第5号	株式会社名田庄商会の経営状況報告について		承認	
報告第6号	わかさ大飯マリンワールド株式会社の経営状況報告について		承認	
報告第7号	公益財団法人グリーン大飯農業公社の経営状況報告について		承認	
報告第8号	株式会社名田庄ウッドィーセンターの経営状況報告について		承認	
報告第9号	土地開発公社の経営状況報告について		承認	
議案第32号	町税条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P5~6
議案第33号	進学サポート給付金の支給等に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案第34号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P6
議案第35号	令和5年度一般会計補正予算(第3号)	〈予算〉	原案可決	
議案第36号	工事請負契約の締結について (本郷第1水防倉庫建築工事)	〈総務〉	原案可決	P6~7
議案第37号	工事請負契約の締結について (里山文化交流センター非常用発電装置整備工事)		原案可決	
議案第38号	工事請負契約の締結について (大飯浄化センター受変電設備更新工事)	〈産建〉	原案可決	P7
議案第39号	工事請負契約の締結について (SEE SEA PARK太陽光発電設備整備工事)		原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	

■賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋啓	今川	猿橋巧
議案第32号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第35号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（細川議長は採決に加わらない）

5月開議会

令和5年5月10日

審議内容

5月開議会に付議された、承認4件、議案1件、同意1件を審査した。

議案審議

専決処分を承認

承認1号

専決処分の承認を求めることについて（おおい町町税条例の一部を改正する条例）

地方税法などの一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

主な改正内容

・住民税において、優良住宅地造成で、土地などを譲渡した場合の長期譲渡所得の課税特例適用期限を令和8年度まで延長するもの。

【全会一致・承認】

補正予算を可決

議案31号

令和5年度おおい町一般会計補正予算（第2号）

3282万8千円増額

主な歳出内容

○価格高騰緊急支援給付金給付事業

2806万8千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

476万円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

3243万2千円増額

○予防事業

335万1千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

3578万3千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

326万2千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

326万2千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

326万2千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

326万2千円増額

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

326万2千円増額

6月定例会議

令和5年6月7日～23日

審議内容

6月定例会議に付議された、報告9件、議案8件を審査した。

報告事項

報告事項を承認

報告1号

令和4年度おおい町一般会計繰越明許費繰越計算書

【全会一致・承認】

報告2号

令和4年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計繰越明許費繰越計算書

【全会一致・承認】

報告3号

令和4年度おおい町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

【全会一致・承認】

報告4号～9号

地方自治法の規定に基づき、町が出資する6法人の令和4年度の経営状況の報告を受けた。

※2・3ページ（特集1）に関連記事あり。

【全会一致・承認】

議案審議

条例改正を可決

議案32号（総務）

おおい町町税条例の一部改正について

森林環境税法施行令の施行に伴い、所要の改正をするもの。

主な改正内容

・町が国税である森林環境税の賦課・徴収を、住民税の賦課・徴収にあわせて行うことに伴い諸規定を整備するもの。

特集①

審議内容

活動報告

一般質問

特集②

追跡

主な質疑

納税通知書に内訳として森林環境税額が明示されるのか。

通知書には、住民税、森林環境税それぞれ

の金額と合計額、各期に分けての納付金額が明示される様式となる。

討論

反対 猿橋 巧議員

国税として一人当たり森林環境税1000円／年を徴収する新税負担は許されない。個人住民税均等割は減免される税ではなく全ての町民に課税されることから、物価高騰の中での税負担増はすべきではない。

賛成 田中秀樹議員

森林環境税法施行令の公布に伴う改正においては、広く国民から森林環境税を徴収し市町村による森林整備などの財源となる森林環境譲与税とし

て山林の間伐や木材利用促進・人材育成や担い手の確保などに使用できるという点を評価し賛成する。

【賛成多数・可決】

議案33号〈総務〉

おい町進学サポート給付金の支給等に関する条例の一部改正について

給付対象者の所得制限規定を撤廃し、修業年限6年の学部在籍する学生の給付期間を4年から6年に延長するもの。

主な質疑

問 大学院への進学者に対する給付は、給付期間の延長対象は、医学、歯学、薬学など6年間の履修課程が対象で、大学院は対象としない。

答 大学院への進学者に対する給付は、給付期間の延長対象は、医学、歯学、薬学など6年間の履修課程が対象で、大学院は対象としない。

【全会一致・可決】

議案34号〈総務〉

おい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及びおい町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

こども家庭庁設置法などの施行に伴い、町の関係条例について所要の改正を行うもの。

【全会一致・可決】

補正予算を可決

議案35号〈予算〉

令和5年度おい町一般会計補正予算(第3号) 1億1281万8千円増額

主な歳出内容

- 起業促進支援事業 4000万円増額
- うみんぴあ大飯事業 336万6千円増額
- 進学サポート事業 408万円増額

総合運動公園管理運営事業 992万3千円増額

主な質疑

問 すでに完了した合宿所の設計などにかかった経費は無駄にならないのか。

答 これまでの地質調査のデータ、基本コンセプトやデザイン、機能性などできる限り設計に活用する。

問 電動キックボードシェアリングサービスの実証実験について、利用者のどのような意見を集めるのか。

答 走行場所や走行ルート、また、どのような店舗や施設へ行ったか、使い勝手はどうだったかという情報を収集していきたい。



運用イメージ



問 企業版ふるさと納税について、具体的にどのような事業を町としてPRしていくのか。

答 進学サポート事業や移住者などを本町に呼び込むための町の戦略的PR事業などである。

討論

反対 猿橋 巧議員

キックボードを利用した事業は危険が伴うことや、合宿所設計の見直しについては維持・運営経費が増加し、財政運営の健全化の点から反対する。

賛成 原田和美議員

物価高対策の町民支援、進学サポートの拡大は町民支援として有効なものである。また、合宿所設計の見直しについては、防災の面を付加するもので、財源の均衡も図られており賛成する。

【賛成多数・可決】

工事請負契約を可決

議案36号〈総務〉

工事請負契約の締結について(本郷第1倉庫建築工事)

災害対応に必要な資機材などを保管するための新たな倉庫を整備するもの。

・契約金額

5516万5千円

・契約の相手方

株式会社時岡組

主な質疑

問 町内各地域にどう
よしの施設が設置
されているか。

答 既に既存の本郷第
1水防倉庫がある
が、そちらが手狭になっ
たため今回新たに設置を
するもの。ほかには、本
郷にあと一か所、佐分
利、大島、名田庄地区に
もそれぞれ設置している。

問 ワンタッチパー
ティションや簡易
ベッドなどの資機材は、
どれ位の対応数量を入れ
る予定か。

答 現時点で本郷第1
水防倉庫にはパー
ティション、簡易ベッド
が533基入っている
が、将来的に資材を追加
し増強するため、今年度
の予算で各180基を購
入する予定としている。

【全会一致・可決】

●議案37号〈総務〉

工事請負契約の締結につ
いて（里山文化交流セン
ター非常用発電装置整備
工事）

名田庄地域の防災拠点
となる里山文化交流セン
ターに、非常用発電装置
を整備するもの。
・契約金額
8569万円
・契約の相手方
株式会社 荒木

主な質疑
発電機の燃料入れ
替えの頻度はどの
程度必要か。

答 年に1回点検を
し、その中で交換
の必要性があれば対応し
ていく。

問 避難した場合に
は、ホールも使用
しなければならぬこと
もあると思うが、対象工
事が全館となっていない
のはどういう理由か。

避けなければならないこと
もあると思うが、対象工
事が全館となっていない
のはどういう理由か。

答 全てのエリアが対
象になると望まし
いが、非常用発電機は高
額であり、今後のメンテ
ナンスや費用対効果など
を総合的に勘案した。防
災拠点として、情報通
信、連絡体制が取れる状
態に必要な部分について
しっかりと担保すること
も重要である。

【全会一致・可決】

●議案38号〈産建〉

工事請負契約の締結につ
いて（大飯浄化センター
受変電設備更新工事）

施設の供用開始から30
年が経過しており、老朽
化した受変電設備を更新
するもの。
・契約金額
5700万5千3百円
・契約の相手方
共和電工株式会社

主な質疑
今回落札した金額
が設計価格の99%

設計価格の99%

449%であったが、
最低価格を入れた業者
は99.299%で失格と
なっている。最低制限価
格を下回っていたのか。
答 最低制限価格を下
回ったためでな
く、入札金額と工事内訳
書の金額が違っていたた
め、電子入札の規則上、
失格となった。



【全会一致・可決】

●議案39号〈産建〉

工事請負契約の締結につ
いて（SEE SEA
PARK太陽光発電設備
整備工事）

嶺南Eコースト計画に
おけるスマートエリア形
成プランに位置づけられ
るシーシーパークの将来的
なRE100化を目指す
ことを目的に、太陽光
発電設備を導入するもの。
※RE100
使用する電力の100%
を再生可能エネルギーに
より発電された電力にす
ること。

主な質疑
芝生広場に太陽光
パネルを建てるこ
とについて、工事中や完
成後の安全対策はどのよ
うになるか。

答 工事中は、スケジ
ュールを確認し、

指定管理者と協議しなが
ら、工事エリアと一般の
運用エリアの仕分けを行
い、小さいお子さまの侵
入防止など安全性を保つ
計画である。

チャレンジシヨツ
プ棟の電力の20%
を最大で賄えるとのこと
だが、多額の費用をかけ
建設して費用対効果は見
込めるのか。
答 本事業は費用対効
果だけを求めるも
のではなく、エネルギー
構造高度化・転換理解促
進事業の趣旨に基づき、
国の採択を受けたもので
あり、設置費は100%
に近い形で国が補助をす
るものである。

【全会一致・可決】

住民に最も近い代表として、基礎知識を学ぶ改選後最初の研修会

【期日】 令和5年5月15日(月)

福井県町村議会議長会の梅田氏を講師に迎え、研修会を行いました。「議会運営と議員の基礎知識」では、新人議員となった3名を主に、「議員とは」「議会・議員の権限」など議会人としての在り方や、当町議会で採用している「通年議会制度」、議案審査の順序、会議の原則など議会運営と議員の基礎知識を学びました。



続いて行われた「おおい町議会基本条例について」では、全議員を対象に

- ①住民に開かれ、住民参加を取り入れ、住民と歩む議会
- ②執行機関の追認機関とならない、執行機関と切磋琢磨していく議会
- ③議員が執行機関へ質問するだけでなく、議員同士の討議を重視する議会

を目的とし、平成23年に施行した議会基本条例の意義の解説を受け、議会・議員の活動を住民に理解してもらえよう努めるための手段として、議会の活性化、議会改革をさらに進めることが必要であることや、この条例では議会自らにも制限を課していることを再認識しました。



【期日】 令和5年5月16日(火)
福井県大飯原子力防災センター、関西電力大飯発電所を見学

原子力災害時に現地対策本部が置かれ、前線拠点となり、国・自衛隊、地方公共団体・電力会社などの関係者が集まり、情報収集、被爆防護、住民避難指示などを行うことを目的に成和地係に設置されている「福井県大飯原子力防災センター」では、緊急時の参集、機器の立上げ、国等とのテレビ会議システムの手法などの説明を受けました。

また、大飯発電所では大飯3・4号の運転状況、1・2号機の廃止措置の状況や、地震・津波・竜巻などに対する安全性向上対策の概要について説明を受けました。



【期日】 令和5年5月17日(水)
町内の主要施設を見学

新人議員を対象に、保健・医療・福祉総合施設、各小中学校、しごとみらい産業団地など、町内の主要施設を見学し、担当者から施設の状況や運営状況の説明を受けました。特に、施設の老朽化などによる改修が今後必要となっていることなどを議会として対応していく必要性を認識しました。



緊急時の対応訓練を視察

【期 日】 令和5年6月13日(水)

【場 所】 (株)原子力発電訓練センター

美浜原子力緊急支援センター

【参加者】 委員12名・議長1名

原子力発電対策特別委員会は、敦賀市にある「原子力発電訓練センター」と、美浜町にある「美浜原子力緊急支援センター」の視察を行いました。

(株)原子力発電訓練センター

国内にある加圧水型原子力発電所に勤務する運転員の教育訓練と運転責任者の資格判定業務を行う施設です。

当日は、関西電力大飯発電所の運転員が3号機シミュレータにより訓練が行われていました。運転員の的確な操作を視察し、発電所のトラブルにも安全・安心に対処できるものと確信いたしました。

初期訓練コースでは、制御室運転員の養成に880時間を費やし、訓練しているとのこと、緊急時、重大事故時の基本運転技能の習得がなされていました。

会社概要

- ・ 設 立 1972年6月13日
- ・ 資本金 3億円
- ・ 株 主

三菱重工業、関西電力、四国電力、九州電力、北海道電力、東北電力、東京電力、中部電力、北陸電力、中国電力(以上10社)

・ 事業内容

◇加圧水型原子力発電所(PWR)

の運転員の教育訓練

◇運転責任者の

資格判定業務

・ 総 数

54名

(内教官33名)



美浜原子力緊急事態支援センター

福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、高放射線量下など多様かつ高度な災害対応が可能な世界高水準の災害対策組織の整備として、美浜町久々に最大でも約31時間以内に国内の各発電所に到着可能な施設として設立されました。

基本的役割は、高放射線下の現場における事故収束活動を行う当該施設事業者の要員の被ばくを可能な限り低減するため、遠隔操作可能な資機材(ロボットなど)を用いて、現場状況の偵察、空間線量率の測定、および瓦礫の撤去など、当該施設の実業者と協働で緊急対応活動を行うものです。

緊急時の活動

- ロボット操作、支援
- 要員・資機材搬送
- 資機材調整・修理

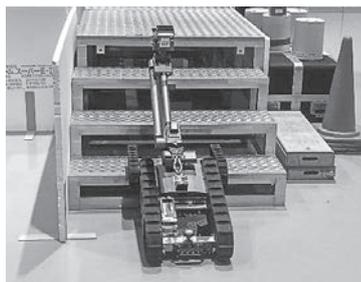
平常時の活動

- 事業者及び支援組織要員の教育・訓練
- 関係機関との連携
- 緊急時に備えた必要な資機材の維持

資機材の視察では

- ・ 無線ヘリコプター
- ・ 小型ロボット
- ・ 無線の重機
- ・ 遠隔操作資材コントロール車の操作など丁寧な説明を受け、緊急時でも安全に活動できることを確認しました。

関係者からそれぞれ説明を受け、緊急時・重大事故時においてシビアアクシデントへの対応を確認しました。



小型ロボット



遠隔操作により動く重機

特集①

審議内容

活動報告

一般質問

特集②

追跡

町政二こが聞きたい!

6月定例会議では、4人の議員が一般質問を行いました。

GX脱炭素電源法が成立したが、町長の評価は

町長 国の責務が明確化されたことは評価に値する



たなか ひでき 田中 秀樹

問 *GX(グリーン・トランスフォーメーション) 脱炭素電源法が5月31日可決成立したが、町長の評価は。

答 *GX(グリーン・トランスフォーメーション) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済システム全体を変革しようとする取組みのこと。

答 (町長) 原子力活用による電力安定供給に向け措置を講じるとともに、安全性向上、国民の原子力に対する理

解の促進、立地地域の振興など国の責務が明確化されたことは評価に値する。60年を超える運転については、科学的見地により合理的な改正がなされたと受け止めている。

問 大飯原子力発電所は30数年後に全てが廃炉となる。先を見定めた動きが必要だが、町長の考えは。

答 (町長) 廃炉を決めた大飯発電所

においても国の方針にのっとり建て替えが検討されるものと理解している。国には将来どの時点において、どの程度の規模の原子力が必要なのか、ロードマップを示してもらおう必要がある。発

電所ならびにおおい町民の安全と安心を高めるべく、関係機関に対し強力に要請を行って行く。

個別避難計画は

問 防災と福祉の連携による要支援者への個別避難計画について現状は。

答 (副町長) 地域の自主防災組織などと連携して作成すること

が、より実効性のある個別避難計画になるものと考えている。自主防災マップの作成や危険個所の確認、避難所の確認などを地域の方と一緒に、併せて地域に住む要支援者の避難などについて話し合う場を設けてきた。

現在1地区のみ作成が出来る。今後も引き続き要支援者の個別避難計画作成に取り組む。

原子力災害時の避難は

問 原子力災害時に新幹線による避難を提案するが、鉄道事業者や国・県に働きかける考えはないか。

答 (副町長) 避難先までの移動手段については原則自家用車で避難することとなっているので、現時点では国や県に働きかける考えはない。



おおい町総合防災訓練の様子

ふるさと納税の活用方策は

問 *企業版ふるさと納税を導入するが、全国のごも食堂に食材を届けるなど、貢献活動型を導入する考えはないか。

答 (まちづくり課長) 受益の対象が町外となり、自治体の事務の範ちゅうを超えるので現時点では導入する考えはない。

*企業版ふるさと納税 正式名「地方創生応援税制」と言い、国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対し、企業が寄付を行った場合に、法人関係税から税額控除されるもの。



問 電気代を返礼品にする考えはないか。

答 (総務課長) 返礼品を「電気」とすることは可能だが、「当該地方団体の区域内において地域のエネルギー源により発電された電気であること」とされており、その電源は再生可能エネルギーに限られている。以前の電源を持たない本町が、電気を返礼品とするためには、電気事業者の協力が不可欠となることから、今後検討していく。

おおい町ふるさと納税額

年度	件数	金額	前年比
令和3年度	1098	2,140万円	114.0%
令和4年度	732	1,427万円	▲33.3%

*前年比は昨年の金額からの成長比率

小学校の統合の議論が必要では

町長 児童数のみで議論するのは適当ではない



なかにし ひでかず
中西 秀和

問 少子化が進む中で町内の児童数の推移や現状の学級編成はどのようになっているのか。

答 (学校教育課長) 児童数の推移

平成30年度は482名、令和5年度は417名、6年間で65名の減となっている。令和10年度は今年度と比べて23名減の394名と想定している。

現状の学級編成

学校名	学 年							合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級	
本郷小学校	1学級	1学級	1学級	2学級	1学級	2学級	2学級	10学級
佐分利小学校	1学級	1学級	複式学級		1学級	1学級	1学級	6学級
大島小学校	複式学級		1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	6学級
名田庄小学校	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	2学級	8学級



大島小学校

問 大島小学校における複式学級は、今後どのように推移していくのか。

答 (学校教育課長)

今年度は1つの複式学級、令和6～7年度は2つ、令和8～9年度は3つ、令和10年度は2つの複式学級になると想定している。

問 複式学級のメリット・デメリットは。

答 (教育長)

メリット…一人一人に目が届きやすくて細かい指導ができる。上下の学年で相互に学び合う経験ができる。自分たちで授業を進める場面があることで主体性が育つ。デメリット…学級内の学年意識が強くなり上下関係が強調される場合がある。

問 今後A-1の急速な進化により社会生活が激変する時代を迎える中で、複式学級は主体性を身につけるといふ観点からそぐわないのでは。

答 (教育長) 複式学級は、児童の主体性を伸ばすことができると考えている。また、従来から小規模校ならではの全校的な縦割り活動を導入し、近年はオンライン

で他校との合同授業や外部機関との交流を行うなど、少人数のデメリットの緩和や最小化する取り組みも進めている。

し、少子化に歯止めをかける施策に取り組んでいる。

問 町内の小学校を本郷地区一ヶ所に統合する議論が必要ではないか。

答 (町長) 学校教育

は地域の未来の担い手である子どもたちを育む営みであり、地域づくりの在り方と密接なつながりがある。学校は児童・生徒の教育のほか、各地域の核としての性格もあり、防災、地域の交流の場など様々な機能を併せ持っている。これらに鑑み、統合については保護者や地域の方々の声を重視する必要があり、児童数のみで議論するのは適当ではないと考えている。一方、町ではこれまでよりさまざまな子育て支援や移住対策を実施



名田庄小学校



佐分利小学校



本郷小学校

シーサイドパークの町民利用を進める方策は

町長 町民の方々に集まってもらえる仕掛けづくりを行う



原田 和美 (はらだ かずみ)

問 うみんぴあ大飯工
リアの賑わいの状
況は。

答 (副町長) うみん
ぴあ(スケートパー
ク)とシーサイドパークの
オープンやこども家族館
のリニューアルなどの好
循環で、入込数や売上、
利用料収入などは増加し
ている。

問 館内の案内表示、
駐車場からの動
線、総合駐車場への道路
横断など、利用者の安全
への対応は。

答 (つごと創生室長)
より使いやすい施
設を目指し、指定管理者
と協議していく。交通安
全対策については、横断
歩道設備の設置など有効
な方策を検討する。

問 シーサイドパークは
オープンして1年
経つが町民の利用が少な
く、集客対象とする世代
の偏りを感じる。町民利
用を進めるための取り組
みが必要ではないか。

答 (町長) 町内の各
種団体に利活用の
案内を行うなど、町民の
方に集まっていただける
仕掛けづくりや協力要請
をしていく。

問 北陸新幹線敦賀開
業に向けての取り
組みや情報発信は。

答 (商工観光課長)
首都圏、関西、中
京圏をターゲットにした
出向宣伝などでアピール
していく。

問 レンタカー利用の
ドライバークルに対す
るエリアへの誘導モニユ
メントが暗い。また、エ
リア内施設の案内標識が
なく、除草など美化への
対応も必要では。

答 (町長) ドライバー
目線に対し実効性
を高める取り組みを行っ
ていく。



エネルギー価格高騰対策と公共施設の活用

問 家庭でのエネルギ
ー価格高騰対策と
公共浴施設の利用増を
兼ねて「高齢者ふれあい
入浴」のような「子育て
ファミリー入浴券」「ファ
ミリーわくわくプール券」
「働き盛りリフレッシュ
券」など、入浴施設やプ
ールの利用券を発行して
はどうか。

答 (町長) 施設の有
効活用と利用料収
入などから課題としてい
く。



シーサイドスパおおいの湯のプール

動物愛護と防災対策(ペット防災)への対応は

問 近年災害時のペッ
トへの対応(ペッ
ト防災)が課題となっ
ている。飼い主への働きか
けは。

答 (防災安全課長)
災害時の町の対応
は、まずは人命救護が基
本であり、ペットについ
ては飼い主による自助が
基本となる。飼い主が
ペット防災を考える試み
として、今年度、公民館
事業で講習会を計画して
いる。

問 獣医師会との連携
は。

答 (くらし環境課長)
公益社団法人福井
県獣医師会では、災害に
備えた飼い主への啓発な
ど、ペット防災に尽力さ
れており、今後、獣医師
会の指導を受けながら飼

い主に情報を提供できる
ように努める。
問 人手が必要な災害
時に、町職員の手
を止めることがないよう
に、ペット防災に関する
災害時ボランティアやサ
ポーターを養成する考え
は。

答 (くらし環境課長)
現時点では、飼い
主のペット防災について
の意識付けを最優先に取
り組む。

問 ペットの存在が避
難の遅れにつながる
など人命に関わる場合
も想定される。町の認識
は。

答 (町長) 課題は認
識しており、方策
を協議検討していく。



新型コロナウイルスの5類移行による個人負担軽減措置はないのか

町長 町独自の医療費助成や軽減措置は現在考えていない



さるはし 猿橋 たくみ 巧

問 新型コロナウイルスが2類から5類に移行したことによる医療費の個人負担金の本町独自の軽減措置はないのか。

答 (すこやか健康課長) 9月末まで公費支援が継続されることになっており、新型コロナウイルスに特化した町独自の医療費助成や軽減措置については現在考えていない。

問 施設などでのクラスター防止のために、陽性患者を入院させる体制は整っているのか。

答 (すこやか健康課長) 本県では即応病床数71床、感染状況に応じて最大311床を確保できするため、体制は整っている。

問 コロナへの恐怖感が薄れているが、町民への注意喚起は。

答 (町長) 5類移行後も基本的な対策を心がけていただくよう町のホームページや広報誌などにより注意喚起を行っていく。

難聴者への支援は

問 加齢性難聴者や高齢者などが難聴により人とかわからずに認知症やうつ病に陥ることがないよう町として補聴器購入に助成すべきでは。

答 (いきいき福祉課長) 助成対象とならない難聴者については、今後の国や県の助成制度の動向を踏まえ検討していく。

答 (いきいき福祉課長) 助成対象とならない難聴者については、今後の国や県の助成制度の動向を踏まえ検討していく。

問 難聴者に直接音声が届ける磁気ループ(集団補聴システム)を町内公共施設に設置し、社会参加を進めてはどうか。

答 (いきいき福祉課長) 今年度は高齢者福祉計画、障がい者基本計画策定の年であり、策定委員会などで提案も含め難聴者の社会参加の推進が図れるよう検討していく。

指定管理施設の管理

問 きのこの森清掃協力金・ゆつたり温泉の入浴料などが引き上げられたが、必要性の根拠は。また、町民への周知はなされたのか。

答 (副町長) 燃料などの高騰や施設維持経費の増加に伴い改定したものである。周知については、改定前の3月から施設管内での事前案内のほかホームページなどでお知らせとお願いしてきた。

問 こども家族館の入場料アップについて県との協議内容を示してほしい。

答 (町長) 町負担軽減のため利用料金削減とクライミングウオールの管理運営費用の半額負担支援や、年2回の企画展を県主催により実施することとした。今後も、負担軽減つながるよう要望していく。

答 (町長) 町負担軽減のため利用料金削減とクライミングウオールの管理運営費用の半額負担支援や、年2回の企画展を県主催により実施することとした。今後も、負担軽減つながるよう要望していく。

特産品開発・売り上げ

問 特産品の開発・売り上げの促進は成果が出ているのか。また、生産を中止している「滝水ひめ」は廃止か。

答 (商工観光課長) 新型コロナウイルス又感染症の影響により商談会や物産フェアが中止になるなど思うような成果を得ることができない状況である。「滝水ひめ」はコロナ禍における販売量の減少と井戸の揚水量が大幅に減少しているため、生産を中止している。

問 自然薯や加工野菜生産者の減少や原材料入手の諸問題対策は十分か。

答 (農林水産課長) 自然薯の生産者数はここ数年大きな増減はない。加工野菜は名田庄漬の生産不足分は町外から調達している。町内いずれの生産者にも生産や出荷に係る支援を行っている。生産者の確保は支援の継続と後継者育成対策が重要と考えている。



自然薯生産風景



こども家族クライミングウォール

町民の皆さまからのひとこと

特集2

町民の皆さまに取材をし、『町政や議会に期待する事』をテーマにお答えいただきました。皆さまの声を丁寧に聞き、議会活動に活かしていきたいと思えます。



さるき だいさく
猿木 大作さん(父子)

選挙の度に若者中心の町づくりや、子どもたちのための町づくりなど聞かすが、本当にその世代の意見を聞いて町づくりが行われているのか疑問です。議会報告会など行われているが、ハードルが高く足が進まない。世代別で一度声がけをしてみると今までと違った意見もきけると思えます。若者がワクワクする町づくりを期待しています！



どうまえ かずのり
堂前 一訓さん(名田庄久坂)

私が区長の時、町に要望書を提出した後に町担当者とはすべての個所の立ち合いをしていただきました。これは非常に稀なことで、ほとんどが立ち合いなく書面回答となっているようです。要望に対して議員の方にも出身地以外でも現地に出向いて、現場把握するなど活動の幅を広げていただきたいと思えます。



たわき まさえ
田脇 将江さん(河村)

おおい町は他の市町と比べると福祉の面では行き届いてると思えますが、きのこの森やこども家族館など観光施設としての子どもたちが遊ぶ場所がある反面、各地区にある公園の状態が良くない所もある。これからの社会を担っていく子どもたちの為にも安全な公園の整備をお願いします。



しめんぢ なおみ
治面地 奈保美さん(岡安)

新たな入学応援給付金など、おおい町は子育てに優しい町だと思います。中学生たちが安心して自転車通学できるように、通学路の除草などの管理を、町、県という垣根を越えて対応してもらえると、小・中学生はもとより、町民の安心安全に繋がると思えます。

特集①

審議内容

活動報告

一般質問

特集②

追跡

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。その後、議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

審議内容

活動報告

一般質問

特集②

追跡



子どもの入学時の費用負担に支援を

小中高入学に際して多額の費用が必要なため、保護者への支援が必要。

(令和4年12月議会 堤 満也 議員)

町長答弁

新たな支援策を検討している

現在もさまざまな子育て支援に取り組んでいるが、提案も含めて新たな支援策を関係課に検討させている。

どうなった？

保護者に対して入学等 応援給付金を交付

令和5年度から入学などの費用の一部を応援金として小学校入学時3万円・中学校入学時5万円・中学校卒業時7万円を交付。



ちょっと
深掘り！

文部科学省が行う 学習費調査の結果は

文部科学省では、子どもを小学校、中学校、高等学校（全日制）に通学させている保護者が支出した経費の実態をとらえる「子供の学習費調査」を隔年で実施しています。

昨年12月に令和3年度の結果が公表されたので、ちょっと覗いてみましょう。

・調査項目

保護者が支出した1年間・子ども一人当たりの経費の平均額（学校教育費、学校給食費、学校外活動費）

・調査結果

公立小学校	35万2,566円
公立中学校	53万8,799円
公立高等学校	51万2,971円
私立高等学校	105万4,444円

との結果が出ています。

出典：文部科学省
「令和3年度子供の学習費調査」

かがや 輝く

栄養も笑顔も満点

名田庄井上

自然薯とろろ ihee

下野の 幸せさん



今回の輝く人では、シーシーパークのチャレンジショップで自然薯料理のお店を開業された方にお話を伺いました。

Q 出店をされたきっかけは。

A 義父が30年程前から自然薯栽培を始め、今では町の特産になっていますが、自然薯料理を提供するところがなかったのでお店を始める計画をたてていました。チャレンジショップのことに聞いて、まずはここで開業することにしました。

Q お店の名前の由来は。
A 私の実家の屋号「伊兵衛」からつけました。

Q 年間を通して自然薯を確保することは難しいのでは。
A 自家栽培の自然薯を使っていますが、不足分は名田庄商会にお世話になっています。

Q お客様の反応はどうですか。
A お客様がSNS等で発信してくださっているようで、自然薯料理を目当てに遠くから若い人が来てくれるようになりました。

Q 今後の計画は。
A チャレンジ期間が終わったら名田庄で開業する予定です。自然薯のおいしさを町内外の方に伝えられるお店を目指してがんばります。

Q 自然薯の美味しい食べ方を教えてください。
A すりおろした自然薯をお好み焼きに入れたり、海苔で巻いて磯辺揚げにすると、ふんわり食感が楽しめます。グラタンにしても美味しいですよ。



おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は9月です。傍聴については議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

9月 定例会議の 予定

- 会 期：8月30日から9月20日まで（22日間）
- 本会議：8月30日（議案提案理由説明）、9月13日（一般質問）、9月20日（採決）
- 委員会：予算決算常任委員会（8月30日～9月1日）
総務・産業建設常任委員会（9月4日）
原子力発電対策特別委員会（9月6日）

編集後記

おおい町議会改選後、初めての定例会議が開かれました。さて「コロナ」と叫ばれ早3年が経過いたしました。さまざまな生活様式の変化や、物価の高騰、燃料費の高騰などまだまだ元通りにもなっていません。分類上5類に引き下がりましたが、町民のみならずにおかれましては、引き続き感染対策や、体調管理をお願いします。

議会だよりでは、町民のみなさまの声をできるかぎり紙面に起こし、しっかりと議会の中で把握していきます。議会だよりがただのお知らせにとどまらず、町の発展のため活用できる媒体となるよう、委員一丸となり取り組んでまいりますので、今後ともご愛読いただけますようろしくお願い申し上げます。
(屋敷記)

- 広報特別委員会
- 委員長 原田 和美
- 副委員長 屋敷 浩道
- 委員 堤 満也
- 〃 中西 秀和
- 〃 高本 和良
- 〃 寺井 義孝